

第7節 移動タンク貯蔵所の基準（政令第15条）

第1 常置場所（政令第15条第1項第1号）

常置場所については、政令第15条第1項第1号の定めによるほか、次によること。

- 1 屋内の常置場所は、建築基準法上適法な建築物でなければ認められない。（平成24年12月21日消防局質疑回答）

第2 構造、設備等の基準（政令第15条第1項第2号から同条第4項）

移動タンク貯蔵所の構造、設備等の技術上の基準については、政令第15条定めによるほか、次によること。

- 1 「移動タンク貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準に関する指針について」昭和48年3月12日消防予第45号
- 2 「移動タンク貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準に関する指針の一部改正について」昭和62年5月26日消防危第48号
- 3 『「移動タンク貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準に関する指針について」の一部改正について』平成6年5月9日消防危第41号
- 4 『「移動タンク貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準に関する指針について」の一部改正について』平成9年3月26日消防危第32号
- 5 『「移動タンク貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準に関する指針について」の一部改正について』平成13年4月11日消防危第51号
- 6 「移動タンク貯蔵所の防護枠の取扱いについて」昭和62年4月30日消防危第41号
- 7 「積載式移動タンク貯蔵所の取扱いに関する運用基準」平成4年6月18日消防危第54号
- 8 「積載式移動タンク貯蔵所の取扱いに関する運用基準の一部改正について」平成7年消防危第23号）

第3 国際輸送用積載式移動タンク貯蔵所

政令第15条第5項に規定する移動タンク貯蔵所で、積載式のものの基準については次によること。

- 1 「国際輸送用積載式移動タンク貯蔵所の取扱いに関する指針について」平成13年4月9日消防危第50号

第4 バキューム方式の移動タンク貯蔵所の設置基準（消防局基準）

政令第15条の規定によるほか次によること。

- 1 貯蔵し又は取り扱うことのできる危険物は、引火点が70℃以上の廃油に限ること。
- 2 減圧装置の配管及び配管の継手は、金属製のものであること。ただし、緩衝用継手は耐圧、耐油性のゴム製のものをを用いることができる。
- 3 移動貯蔵タンクには吸上自動閉鎖装置（廃油を当該貯蔵タンクに吸入し、一定量に達すると、自動的に弁が閉鎖し、廃油がそれ以上当該タンクに流入しない構造のもの）を設けるものとし、かつ、当該吸上自動閉鎖装置が作動した場合にその旨を知らせる設備（音響又は赤色ランプの点灯等）を容易に覚知できる位置に設けること。
- 4 ホースの先端には、石等の固形物が混入しないように網等を設けること。
- 5 許可申請書には、次の事項を記載すること。
 - (1) 貯蔵所の区分欄には「移動タンク貯蔵所（バキューム方式）」と記入すること。
 - (2) タンクの減圧機能については、自主検査を行うものとし、申請書の「その他必要事項」欄にその結果を記入すること。
- 6 完成検査時には、吸上自動閉鎖装置の機能試験を行うこと。
- 7 移動タンク貯蔵所により廃油回収を行う場合は、平成24年8月22日指危第34号「移動タンク貯蔵所等における廃油回収に伴う留意事項について」により指導を行うこと。

《参考》

バキューム方式の移動タンク貯蔵所とは、製造所等の廃油を回収する産業廃棄物処理車等であって、当該移動貯蔵タンクに危険物を注入する場合は、タンク内を減圧（真空）することにより危険物を吸入し、かつ、移動貯蔵タンクから危険物を取り出す場合は、当該貯蔵所のポンプにより圧送又は自然流下する方式のものをいう。